

2019 ▶ 2021

いたばし学び支援プラン 2021

《板橋区教育ビジョン2025》 めざす将来像と3つの基本的方向性

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！” 地域が支える教育の板橋
“学び合う、学び続ける人づくり！” 地域を創る教育の板橋

子どもの学びを保障する
教育環境の確保

これからの社会を
生き抜く力の育成

地域と共に学び合う
教育の推進

「教育の板橋」の実現に向けた、3年間の計画です。



中学校の授業風景



小学校の授業風景



重点施策1 確かな学力の定着・向上

● 読み解く力の育成

文章や情報を正確に理解し、論理的思考を行うために必要な「読み解く力」を、小中学校9年間を通して育成します。教科書の文章を正しく読めるようにするとともに、学力向上をめざします。

- 日本語の変則的な読み（「っ」「ゃ・ゅ・ょ」など）の指導・支援による、言葉や文を正しく読む力の育成
- 「基礎的な読む力」を測るテストの結果を踏まえた、文章の意味や意図を正しく読み取る力の育成

● プログラミング的思考の育成

プログラミング的思考を育てる指導計画を作成し、全小学校で実施します。また、教育科学館でロボットプログラミング教室を開催し、世界最大規模の国際的なロボット競技会 FIRST® LEGO® League(ファーストレゴリーグ)に出場します。

重点施策2 豊かな人間性の育成

● 環境教育の推進

「板橋区保幼小中一貫環境教育カリキュラム」に基づき、全学校園で環境教育に取り組みます。

ユネスコスクール加盟校・申請校を拠点として、持続可能な開発のための教育(ESD)の考え方を取り入れており、持続可能な社会を実現するための国際目標(SDGs)の実現にもつなげていきます。

重点施策3 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした教育の推進

● オリンピック・パラリンピック教育の推進

各学びのエリアでの「めざす子ども像」を踏まえた取組を実施し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後も子どもたち一人ひとりの人生の糧となるようなレガシーを残していきます。

重点施策4 誰もが希望する質の高い教育を受けられる環境の整備

● 特別支援教育の充実

特別な支援を必要とする子どもへの教員の指導力向上に努めます。また、小学校に続き全中学校にSTEP UP教室(特別支援教室)を整備します。

● 外国籍の子どもへの対応

日本語が理解できない児童・生徒に対し、学校生活に早く適応できるよう、日本語短期集中講座を実施します。

重点施策6 安心・安全な教育の推進と学校環境の整備

● 魅力ある学校づくりの推進

校舎の改築・改修などを計画的に行い、安心・安全で良好な学習環境を整備します。

重点施策8 生涯学習社会へ向けた取組の充実

● 中央図書館の改築・事業拡大と「絵本のまち板橋」の推進

区立図書館の新たな中心館として、設備面の課題に対応するとともに、生涯を通じてこころの豊かさと学びを支える図書館をめざします。

● 世代を超えて教わる・教える「学びの循環」に向けた支援

大人の世代に加え、まなぼーと(生涯学習センター)内の「i-youth(あい・ゆーす)」で、中高生・若者の主体的な活動や学習の支援、居場所の提供を行います。

● 板橋区の歴史・産業・文化の発信による新たな魅力・価値の創出

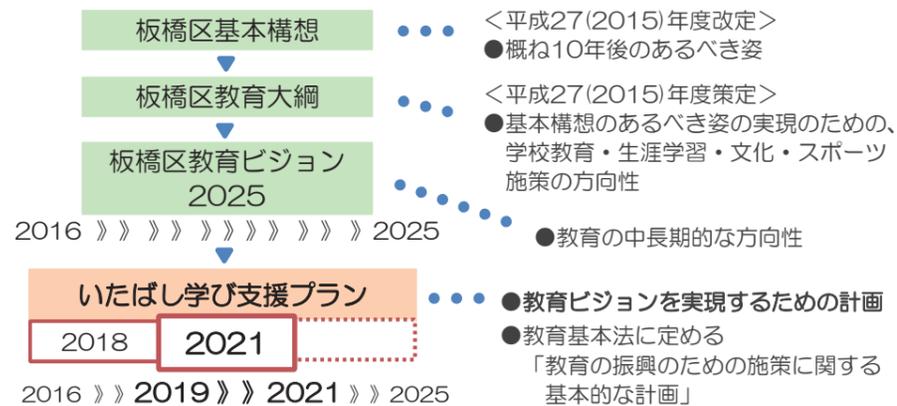
板橋区史跡公園(仮称)、旧粕谷家住宅など貴重な文化財を確実に保存するとともに、郷土資料館の展示再整備を行うなど、効果的な活用により魅力・価値をアピールします。

重点施策9 家庭における教育力向上への支援

● 家庭教育支援の推進

地域に根ざした活動を行う人材で「家庭教育支援チーム」を組織し、日常的な支援を開始します。

計画の目的・位置付け・対象期間



板橋の学校と子どもたち

授業風景や活動の様子を、教育委員会ホームページに随時アップしています。板橋区の学校で学ぶ子どもたちの素敵な姿をご覧ください。



社会の変化と板橋区の状況

「超スマート社会 (Society5.0)」 2030年頃到来の予想*

AIなどの先端技術の
急速な進歩

- 生活や産業構造の劇的な変化
- 社会や生き方そのものも大きく変わる

人生100年時代 到来の予測*

平均寿命の著しい伸長

生涯にわたり自ら学び続け、能力を高め、
他者と協働しながら地域や社会の課題解決
に活躍することが必要

人口減少・少子高齢化の進行

教育をめぐる板橋区の課題

- 確かな学力の定着・向上
- 子どもたちに求められる資質・能力の転換に伴う授業革新
- 「小1プロブレム」「中1ギャップ」への対応
- 不登校出現率の高さへの対応
- いじめへの対応
- 特別な支援を必要とする子どもへの対応
- 日本語が理解できない子どもの増加への対応
- 教員の長時間勤務の改善
- 子どもの居場所の確保
- 家庭状況の変化への対応
- 子どもの貧困への対応
- 生涯にわたる学びの機会の充実

複雑で
多岐にわたる課題

- 保育所・幼稚園
小学校 中学校
それぞれでの取組では
解決できない
- 学校だけでは
対応できない
現状

重要性を増す
生涯学習への対応

*第3期教育振興基本計画（平成30(2018)
年6月15日閣議決定）ほかによる

めざすべき方向

AIと共存していく社会で 「人間の強み」を発揮するための 力の育成

- 文章や情報を正確に読み解き
対話する力
- 科学的に思考・吟味し活用する力
- 価値を見つけ生み出す感性と力、
好奇心・探求力

教員の長時間勤務の改善

- 教職員の心身の健康保持、
ワーク・ライフ・バランスの実現
- 専門性を発揮できる環境

家庭に対する支援

- 子育ての不安感や負担感の解消
- 家庭や子どもの孤立化を防ぐ

保幼小の学びのつながり、 小中9年間を通した教育の推進

- 保育所・幼稚園と小学校の学びを
円滑に接続
- 小中学校9年間の義務教育全体の中
で、計画的・系統的・連続的に
子どもたちを育む

保護者・地域との連携・協働

- 「地域とともにある学校」
学校・家庭・地域が、
教育の当事者として
課題・目標・ビジョンを共有し、
一体となって子どもたちを育む

生涯にわたる学びに向けた支援

- 世代を問わない・学校以外の学び
の場、学びの循環

子どもたちが
大人になる頃の
社会の
大きな変化に向けて

3年間で取り組む 3つの柱

重点施策5 保幼小中のつながりある教育の実現

● 保幼小接続・小中一貫教育の推進

【保育所・幼稚園から小学校へ、学びの円滑な接続】



【2020年度、全小中学校で小中一貫教育をスタート！】

学力の定着・向上と、
小中学校を通して
安心して学校生活を
送れるようにすること
をめざします。

学びのエリア内の小中学校で9年間を通した系統的な教育

- ・「めざす子ども像」と
教育活動の「基本方針」
を設定・共有
- ・小中一貫教育カリキュラム
「板橋のi(あい)カリキュラム」



重点施策7 地域による学び支援活動の促進

● 板橋区コミュニティ・スクール(iCS)の導入

【地域とともにある学校へ 2020年度、区内全小中学校で本格導入】

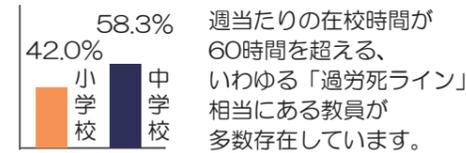
学校・家庭・地域が
課題や目標を共有しながら、
地域の子どもたちを共に育み、
すべての子どもたちの
安心できる学びの居場所を
地域の学校につくりま。



● 教職員の働き方改革

【質の高い教育活動のため、教職員の働き方を見直し】

板橋区立学校の教職員の勤務実態



「板橋区立学校における教職員の働き方改革推進プラン2021」に基づき、教職員が心身共に健康で、誇りとやりがいをもって教育活動に従事できるよう、働き方を見直します。

すべての方向性に共通する事業

教育の板橋

2019▶2021の取組

いたばし学び支援プラン2021 主な事業

学びのエリア

板橋区には22校の区立中学校があり、各中学校と近隣の区立小学校で「学びのエリア」を作っています。2020年度、区内22のすべての学びのエリアで小中一貫教育をスタートします。

板橋のi(あい)カリキュラム

義務教育9年間を見通した小中一貫教育のカリキュラムです。国語、算数・数学、英語のほか、区の重点的な教育課題として

- 読み解く力の育成
- 環境教育
- キャリア教育
- 郷土愛の育成

のカリキュラムも作成し、全小中学校で取り組んでいきます。

コミュニティ・スクール委員会の構成員

校長、副校長、保護者代表、町会・自治会、地域コーディネーター、ボランティア代表、青少年健全育成地区委員、民生・児童委員、学識経験者(大学教員、企業関係者ほか)の方々などで構成されます。

「熟議(じゅくぎ)」

地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有するために、熟議(熟慮と議論)を重ねていきます。教職員が加わることも想定しています。

【熟議のテーマの例】

- どんな子に育ててほしいか
- 学校・家庭・地域で共通して取り組むこと
- どんな活動が学校を支えることになるか
- 子どもの学力向上について など

教職員の働き方改革の取組

- ICカードによる在校時間管理
- 学校完全休校日の実施、定時退庁日の設定
- 部活動指針の改訂による体制整備 ほか

教職員の働き方改革の意義や取組、学校の課題を保護者・地域の皆様と共有していきます。ご理解・ご支援をお願いいたします。

板橋の小中学校の
学びのかたち

板橋区 授業スタンダード

確かな学力の定着のため、始めに「めあて(学習の目標)」を示し、終わりに「まとめ・振り返り」を行うなど、全小中学校共通した指導の視点で授業を行います。